

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No.B-75)
「女子大生のヘアスタイル」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「女子大生のヘアスタイル」について写真観察を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科(担当：竹内)」、「経営学(担当：篠崎香織)」、「マーケティング(担当：斉藤明)」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回、実践女子大学生の1～3年生を対象に髪の毛を写真観察から調査した。調査の結果、髪の毛の長さ・髪色・髪を結んでいる点や髪の毛を巻いているなどのアレンジをしているかどうかの3点から考察することができた。髪の毛の長さはミディアムの長さが最も多く、髪色は暗めの茶色が多いことが写真から読み取れる。また、髪の毛を結んでいる人よりもおろしている人の方が多いことがわかった。アレンジをしている人の多くはポニーテールをしており、調査から暑さなどの関係から首に髪の毛がつかないようなスタイルを好む人が多いのではないかと推測することができる。

調査のポイント

(1) 髪色は暗めの茶色が最も多い。

髪色で最も多かったのが暗めの茶色であった。また学年ごとに比較をしたところ、1年生は黒色も多く、2年生になると明るい髪色をした人が増えていることがわかった。3年生になると茶色の人もある一方で黒色の人もいた。このことからそれぞれの学年と環境が関係しているのではないかと推測することができる。

(2) ミディアム～ロングの長さが最も多い。

髪の毛の長さに着目してみると、ショートボブの人数も少なくはなかったが、ロングからミディアムの長さの人が最も多いことがわかった。髪を伸ばしている人の中には雑誌などで見る女性モデルの髪が長く、少しでも憧れのモデルに近づくように髪を伸ばしている人がいた。最も多かったのが元々髪の毛を伸ばしていたからそのまま伸ばしているという人が多かった。このことから、女性=髪の毛が長いといった考えがあるのではないかと推測するこ

とができる。

(3) アレンジをしている人で最も多かったのがポニーテールであった。

髪のをアレンジしている人で最も多かったのがポニーテールであることがわかった。これは梅雨で髪のが跳ねたりする点や日に日に暑くなっていることから首が出るポニーテールをしていることが推測することができる。

(4) 髪全体を派手なカラーにしている人は少数であった。

人と差を付け、個性を出すために、毛先をカラーしている人は見られたが、髪全体を派手な色に染めている人は意外にも少ないことがわかった。

調査概要

- ・調査対象：実践女子大学の1～4年生
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2018年6月18日～6月29日
- ・調査場所：実践女子大学
- ・回答者の属性：実践女子大学生

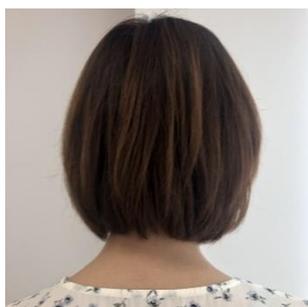
本件調査担当

実践『ペルソナ』研究会
3年 氏名 星野 友紀奈
 氏名 堀江 理菜
 氏名 松岡 資佳

写真

【肩に付かない短めスタイル】





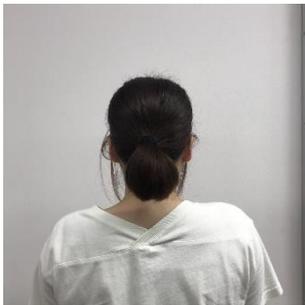
【落ち着いた長め(ミディアム~ロング)スタイル】







【アレンジスタイル】





【人とかぶりにくい個性派スタイル】

